

令和3年度 各専門部会・プロジェクト状況等報告書

1. 名称 【相談支援部会】

2. 部会員数 【 64 名】令和4年5月9日時点

3. 令和3年度の開催回数

4月			5月(オンライン)			6月		
会議		回	会議	1	回	会議		回
参加者		名	参加者	24	名	参加者		名
7月(オンライン)			8月			9月		
会議	1	回	会議		回	会議		回
参加者	25	名	参加者		名	参加者		名
10月(オンライン)			11月(全体研修)			12月		
会議	1	回	会議		回	会議		回
参加者	37	名	参加者		名	参加者		名
1月(オンライン)			2月			3月		
会議	1	回	会議		回	会議	1	回
参加者	30	名	参加者		名	参加者	23	名

* コア会議 (5月6月8月12月2月に実施)

会議開催総回数 5 回
参加者総数 139 名

4. 令和3度の活動について

年度当初の部会では報酬改定により新たに加わった機能強化や初回加算について理解を深めることができた。指導調書の読み合わせも検討されていたが、今年度分の指導調書をいただくことに時間がかかり、後半は実施できなかった。
コロナ禍であり、オンラインでできることを検討し、教育機能に重点を置き、精神障がいや強度行動障がい、医療的ケア児の支援などの現状等の知識の習得を行った。

5. 令和4年度の活動について

相談支援事業所の休止、閉鎖が毎年あり、相談支援事業所の継続が難しいと考えている相談支援事業所があることを踏まえ、経営の視点から検討を行っていく。その方法の一つとして、加算請求等について考えていきます。
まずは、どのくらい加算請求できているのか現状を知る。相談支援に関する加算内容の確認を行うとともに、なぜ加算請求できないのか、理由を確認した上での対策を検討していきます。これまでに作成している加算様式の見直し等も必要に応じて行っていけたらと考えています。

新型コロナの状況にもよりますが、可能な限り対面での実施を行っていきたいと思います。ただし、会場の利用ができない場合には、オンライン（Zoom）で実施します。
部会員が相談支援専門員が多く、多忙であり、2カ月に1回の頻度での開催となっております。